

愛～天使の手のひら～ ～歌と朗読コンサート～

2015.9.16 (水) 開場：18:00 開演：18:30
札幌コンサートホール Kitara 小ホール
札幌市中央区中島公園1番15号

【後援：札幌市、札幌市教育委員会】



朗読：橋本理加



愛することの幸せ、愛されることの喜び、そして命の大切さ。すべての人の心の中に在る純粹無垢な魂に語りかける「ひでぼー天使の詩」の朗読と歌で、生きていることの素晴らしさと生命の重さを伝えたい。

生まれてすぐに長くは生きられないと宣告されるも数々の困難を乗り越え、奇跡的に8年10ヶ月も生きたひでぼー。『ひでぼー天使の詩』は、そんなひでぼーからの魂のメッセージを綴った絵本。2013年度アマゾン絵本部門第1位を記録。

絵本：ひでぼー天使の詩 [文：橋本理加、絵：葉祥明、明窓出版刊]



歌：横山マリア

- ◎2003年8月10日 地球交響曲第2番ガイアシンフォニー上映会にて 群馬県21世紀プラン朗読と歌唱／於：群馬県民ホール
- ◎2007年 CD『座敷わらしとの約束』～1/f ゆらぎの音魂～日本の天使達へ
- ◎2011年 ジャンルを超越した音楽ユニット VOIDTIME を結成
- ◎2014年3月3日 東日本大震災復興応援歌CD『マイバラード / 虹色の未来』発表
- ◎2014年3月30日 CD『八ヶ岳 MUSICA』発表
- ◎2014年 文化庁平成25年度補助事業 茅野市美術館『Play wihe soundscape 音風景の可能性2013』公募 八ヶ岳 MUSICA より風～OMI WATAR I 発表
- ◎2014年11月21日「国際障害者年」を記念した、山梨県甲府市 第34回 山の都ふれあいコンサートにて『わかばのすごいところ』『音色』作曲、歌 発表

【チケット】 2,000 円 (すべて自由席です)

- 取扱いは Kitara チケットセンター 011-520-1234、大丸プレイガイド 011-221-3900 まで
- 前売りチケット振込先：ゆうちょ銀行 (記号 19070、番号 46933781、口座名 天使の詩実行委員会) (※下記の問い合わせ先に連絡の上お振込ください。当日、振込依頼書確認後、入場チケットをお渡しします)

【お問い合わせ】

天使の詩実行委員会 藤原 (090-6449-4782、mail: hf0122@ezweb.ne.jp)

カフェ集い処 (つどいどころ) えん 011-661-9611 (11:00～18:00) [チケットもあります]

その日、^{うた}愛の詩が Kitara に響きます。

うた
No.4156 15-131 9/4



ひでぼーのお母さん
橋本 理加さんより

「愛～天使の手のひら～ 歌と朗読コンサート」に寄せて

ひでぼーは生まれた時から染色体異常の病気のため、体が不自由で耳が聞こえず、気管切開のために声も出ないという重度の障がいを抱えていました。母乳はもちろん、生まれてから一度も口から食事をしたことがなく、ずっと腹部の皮膚から直接、胃にチューブを入れて栄養補給を行っていました。とにかくひでぼーが生まれてからの約9年間は、1時間以上まとまった睡眠をとることもできず、まさに親子ともども命がけの生活を送っていました。

私は今、ひでぼーが皆さんに一番伝えたかったこと『We are the one ～みんなひとつなんだよ。優しい心に目覚め、真心を持って生きてね』というメッセージを携え、命の大切さとひでぼーのような子をもっと社会に理解され、受け入れられるように朗読会などを通してさまざまな活動をおこなっています。

また、横山マリアさんはかつて児童養護施設の心理士としてセラピールームで子供たちと歌いながら心の援助を行っていたそうで、現在は山梨県の障がいを持つ子供たちの詩を歌に託し、子供たちに夢と希望を与え、そしてその子たちのお母さん方を励まし応援してきました。

以前、横山マリアさんから「私もかつて理加さんと同じ、障がいを持った子を授かり、少し早くに天にお返ししたママなのよ」と教えてもらいました。子を亡くし残された母は、子の意思を継いで他の子も自分の子のように幸せを願いながら、その子の分まで精一杯生きています。決してひとりぼっちじゃないとあなたに伝わりますように。そんな思いが、私と横山マリアさんの活動の原動力なのです。

このコンサートで歌われる歌はすべて「愛と真理」に溢れています。宮下和江先生主宰のバレエ教室『ラ・プリマヴェーラ』の天使たち (子供たち) も可愛らしいバレエを披露してくださいます。どうぞ、一人でも多くの方にひでぼーからの愛のメッセージが届きますように。感謝。

☆はしもとりか☆